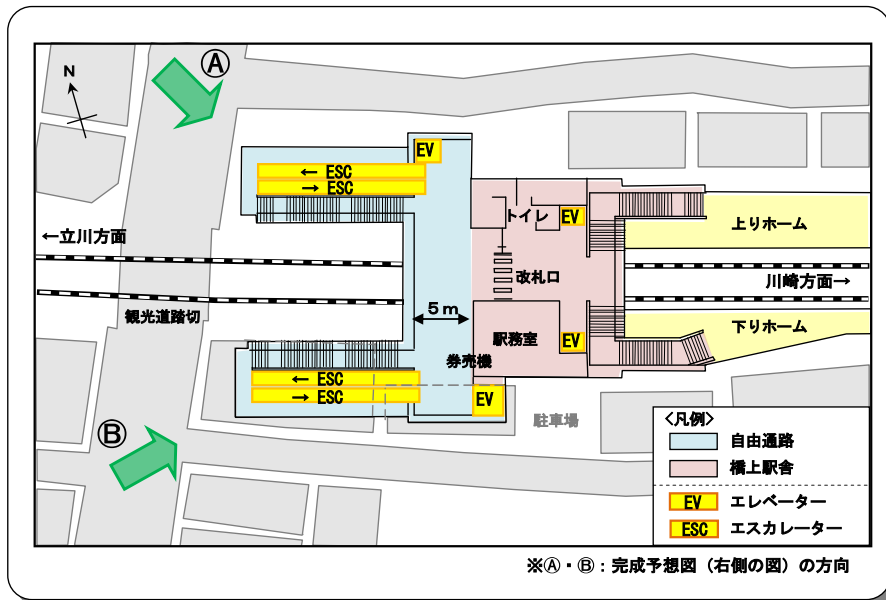


1 整備概要図

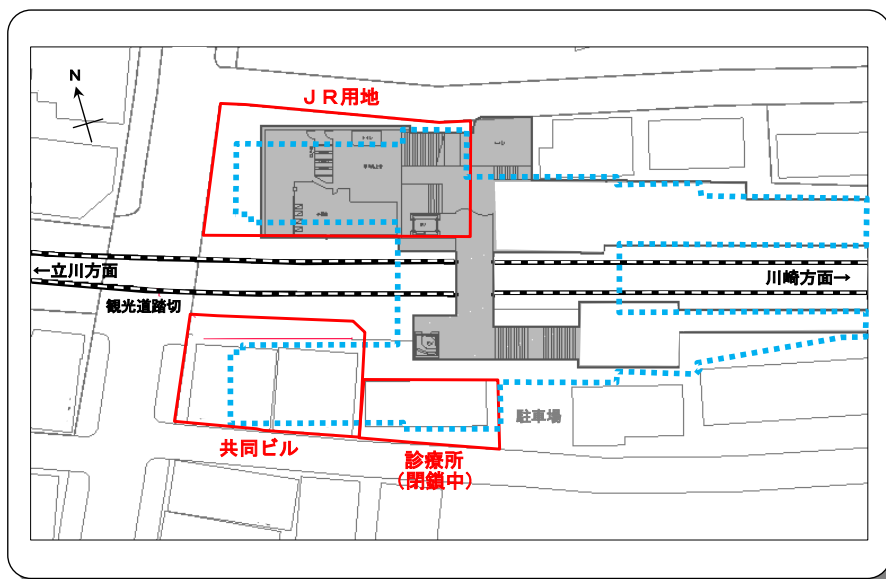
JR東日本に詳細設計業務（平成25年9月から）を委託し、設計を進めている。



※A・B：完成予想図（右側の図）の方向

2 必要な事業用地の位置

共同ビルと診療所の用地取得について交渉中



3 今後の取組

- 平成26年3月26日 地元説明会（菅小学校）
- 平成26年4月 外観の色彩等に関する投票を実施
（数案の外観イメージを提案し、駅に設置する投票箱にお気に入りの外観を投票）
- 平成26年度内 JR東日本と工事施工協定を締結、工事着手
- 平成29年度末 工事完成、供用開始

4 景観の考え方

稲田堤駅のデザインコンセプト ～ つながり・もてなし・賑わい ～

- 多摩川崖線（丘陵）を想起させつつ、周囲の建築物の高さに、屋根高さを段状で調和させることで、周辺環境とのつながりに配慮した屋根形状とする。



段状の屋根形状とした例（山形市総合スポーツセンター）



- 外壁等は、朝夕に地域の人や乗降客をもてなし、やさしく誘い包むような暖かみを感じる色彩とする。舗装は、建築物を引き立てる落ち着きと暖かみのあるアースカラーとする。

- 他路線とつながる結節機能を有することから、もてなしの外観として、正面性やゲート性を感じさせる形態とする。



両側に入口を設け左右対称の形態とした正面性のある建築物の例（東京都豊島区自由学園）



A【北西から見た完成予想図】



B【南西から見た完成予想図】



- 踏切で分断された商店街の賑わいを連続させるため、自由通路から商店街の賑わいを感じられるよう開放感のあるガラス等の素材を用いる。

- 多くの人が行き交う階段周辺は、もてなしの空間として開放的なものとする。



開放的な階段の例（JR登呂駅）

平成26年3月26日

J R 稲田堤駅色彩デザイン投票について

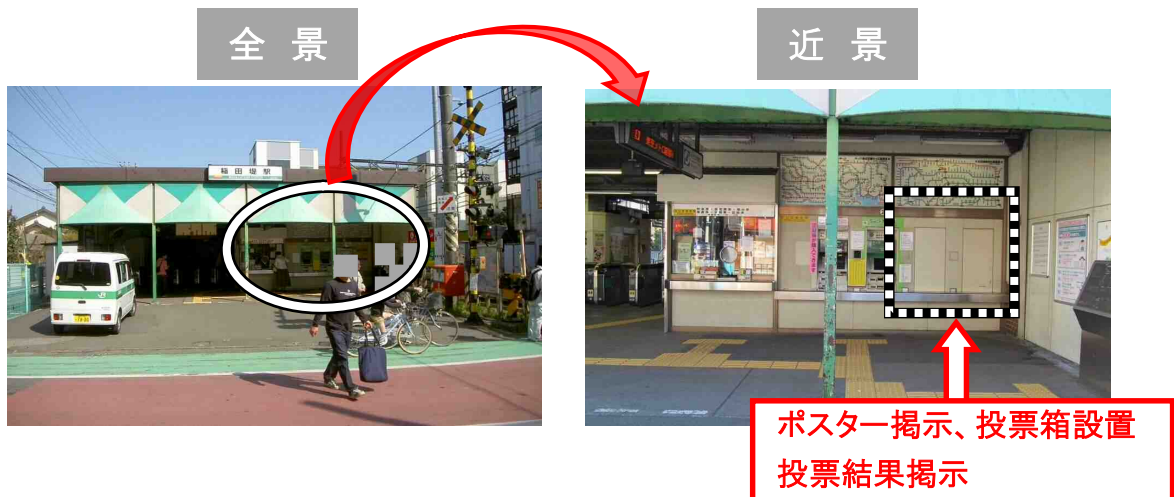
～川崎市・南武線駅アクセス向上等整備事業～

川崎市では、線路の片側にしか改札口が無いJ R南武線稲田堤駅のアクセス向上に向けて、線路をまたぐ自由通路を整備し、併せて現在の駅舎も線路の上空に移して橋上駅舎とするための取組を進めております。

この度、その新しく生まれかわる稲田堤駅の外観の色彩などを選ぶために、地域住民や駅利用者の皆様による投票を下記のとおり実施いたします。

記

- ・ 投票期間 平成26年4月30日（水）から5月15日（木）まで
- ・ 投票場所 J R稲田堤駅改札（券売機横） ※写真参照
- ・ 投票方法 3つのデザインを掲載したポスターの中から、1つ選んでいただき、投票場所にある所定の投票用紙に記入し、同じく投票場所に設置する投票箱に投函
- ・ 投票結果 平成26年5月下旬 発表予定（同場所にて）



（お問い合わせ先）

川崎市まちづくり局交通政策室

鉄道施設対策担当

Tel 044-200-2717

Fax 044-200-3967

メール 50kousei@city.kawasaki.jp